

令和3年度事業報告書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 しりべし圏域総合支援センター

1 事業の成果

本年度も引き続き、北後志5ヶ町村（余市町・仁木町・積丹町・古平町・赤井川村）から障害者・児の相談支援事業、基幹相談支援センターの委託を受け事業継続し、地域生活支援拠点事業開始と共にコーディネーターの役割を受託し活動しております。また、前年度に引き続き余市町より補助を受け、地域活動支援センター事業を実施しました。

また、精神障がい者地域生活支援事業、生活困窮者自立支援事業の2事業も北海道より継続して受託。

コロナ禍の影響が続く状況下では、分散出勤やオンラインの活用を積極的におこない、消毒等の衛生管理なども徹底し、利用者様への負担が大きくなるよう配慮し従事。職員の感染者や濃厚接触者、家族の体調不良等で在宅待機者が出るなどの事情はありましたが、徹底した対応や管理をおこなっていたので、事務所を一時休所するなど、事業の機能を停止することなく活動することができました。

基本相談支援、計画相談支援、障害児相談支援につきましては、大きな変化はなかったものの、退院促進事業や地域移行支援等はコロナ禍の影響が続く中、ピアサポーターの活動含めた支援の一時停止が続き、利用者様やピアサポーターの心のケアにも配慮しました。支援が再開できた際には小規模で、感染対策を徹底し、利用者様の期待に添えるよう、できる限りの支援をおこなっています。

生活困窮者自立支援事業では、未だ生活福祉資金貸付制度や住宅確保給付金など、新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や失業等により生活資金でお悩みの方々の相談や生活困窮に関する相談拡大が続き、適切な対応をしております。また、アウトリーチ支援にも目を向ける活動も心がけ、地域の実情の把握に努めました。

北後志地域自立支援協議会事務局活動としては、小規模の専門部会の開催やリモート会議や書面会議などの工夫を取り入れ、情報共有が図れるよう努め、地域の課題解決や福祉コミュニティの発展に貢献しました。

令和3年4月には自立生活援助事業所の指定を受け、事業を開始しておりますが、令和3年度においての実績はありませんでした。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に 記載した 事業)	事業内容	実施月日	実施場所	従業者の 人数	受託対象者 範囲及び人 数	支出額 (千円)
(1)-⑤ (1)-⑥ -イ)	北後志 5 町村(余市町・仁木町・積丹町・赤井川村・古平町)からの委託を受け障害者本人やご家族からなどからの相談に応じると共にサービス調整や地域の課題解決に取り組んだ コロナ禍で不安になる利用者様も多かったが、職員の健康管理・感染防止対策にもしっかり取り組み、利用者様の支援を継続し、感染拡大の影響はあったものの、事業を休止することなく活動することができた	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村	8 人 (兼務 者含む)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 の住民	38,767
(1)-⑥ -ハ)	余市町より補助金を受け、障害のある方や、様々な理由から外に出ることが困難な方へ日中活動できる場の提供や創作活動や生産活動の機会を提供した	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	余市町	2 人 (兼務 者含む)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 の住民	4,000
(1)-⑦	1 人暮らしの希望がある方や地域で生活していくために援助を必要としている方に事業の説明をおこない、お手伝いできることを周知した。	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村	1 人 (兼務)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 の住民	0
(2)	北後志 5 町村(余市町・仁木町・積丹町・赤井川村・	令和 3 年 4 月 1 日	余市町 仁木町	7 人 (兼務)	余市町 仁木町	(1)-⑤ (1)-⑥

	古平町)からの委託を受け障害者本人やご家族からなどからの相談に応じる都共にサービス調整や地域の課題解決に取り組んだ	～ 令和4年 3月31日	積丹町 古平町 赤井川村	者含む)	積丹町 古平町 赤井川村 の住民	-イ)に含まれる金額
(3)	事業の実施なし					
(4)	事業の実施なし					
(5)	事業の実施なし					
(6)	下記(9)に含まれる内容					
(7)	生活困窮者自立支援事業のプロポーザルに応募し、前年度に引き続き受託。後志管内全域の相談者のケースに合った問題解決や自立にむけた支援を行った。昨今のコロナ禍において、生活困窮に陥った方の相談も多く、住宅確保給付金や生活困窮者自立支援金等の相談が、今なお増えている状況。また、アウトリーチ支援を行い、地域で暮らしたいが、自らの困難を発信しづらい方の相談支援にも務めた。	令和3年 4月1日 ～ 令和4年 3月31日	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 神恵内村 泊村 共和町 岩内町 蘭越町 寿都町 島牧村 黒松内町 倶知安町 ニセコ町 留寿都村 真狩村 京極町 喜茂別町	4人 (兼務 者含む)	余市町 仁木町 積丹町 古平町 赤井川村 神恵内村 泊村 共和町 岩内町 蘭越町 寿都町 島牧村 黒松内町 倶知安町 ニセコ町 留寿都村 真狩村 京極町 喜茂別町 の住民	16,288
(8)	事業の実施なし					
(9)	精神障害者地域生活支援事業のプロポーザルに応募し、前年度に引き続き受託。センター長を先頭に地域移行推進員ピアサポー	令和3年 4月1日 ～ 令和4年 3月31日	(7)に 小樽市を 加えた地 域	2人 (兼務 者含む)	(7)に 小樽市を 加えた地 域	6,357

	<p>ターが協力して、病院からの退院支援や地域で精神障害者が自立した生活を営めるよう支援、啓蒙、理解促進に務めた。コロナ禍で例年とおりの活動は難しい状況ではあったが、できる限り利用者様の意向を尊重した活動をおこなった。</p>					
--	---	--	--	--	--	--

- (2) その他の事業
事業の実施なし